

新小谷木橋 NEWS

【Vol.3】 平成 29 年 6 月 発行 編集：岩手県南広域振興局土木部



世界遺産平泉
PRキャラクター「ケロ平」

岩手県が「復興支援道路」として奥州市水沢区で事業を進めている一般国道 397 号小谷木橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして現在の進捗状況等をお知らせします。

～（仮称）新小谷木橋の完成予定を 2 年前倒し！平成 32 年度供用へ！～

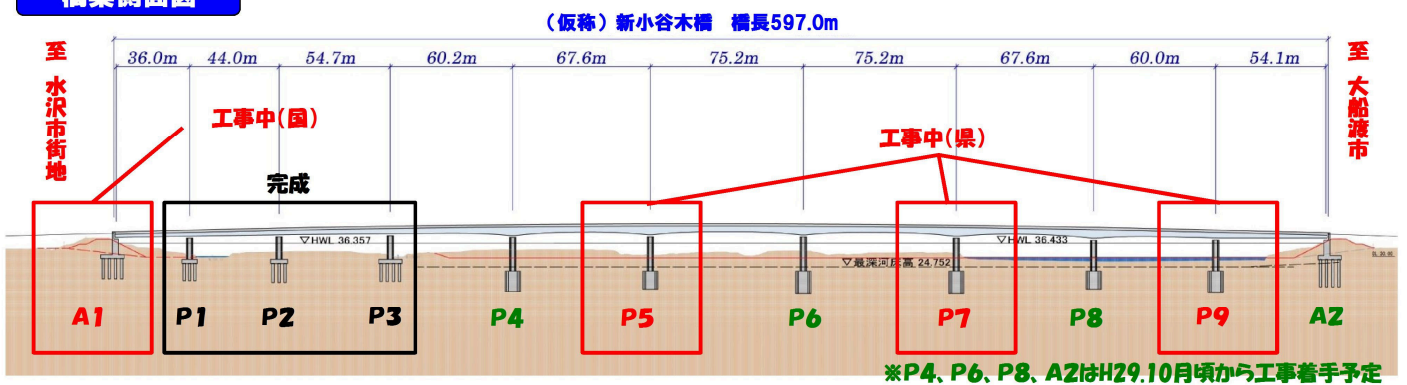
一般国道 397 号小谷木橋工区では、幅員が狭く車両のすれ違いが困難な交通隘路となっており、架橋から 60 年以上が経過して老朽化が著しい小谷木橋（595.3m）の架替を行います。

新しい橋（（仮称）新小谷木橋：597.0m、以下「新小谷木橋」という。）は、現在の小谷木橋から約 130m 上流に架橋する計画であり、現在、下部工工事を進めています。これまでに 3 基の下部工（P1、P2、P3）が完成、今年の夏頃までには現在工事中の 4 基の下部工（A1、P5、P7、P9）が完成予定であり、今年の秋頃からは残る 4 基の下部工（P4、P6、P8、A2）の工事に着手する予定です。

新小谷木橋については、これまで供用予定を平成 34 年度としていましたが、上部工工事の施工計画見直しなどで完成予定を 2 年早め、平成 32 年度の供用が見通せる状況となりました。

今後は、新小谷木橋前後の道路改良工事に着手するほか、今年の冬頃には上部工工事を発注し、平成 32 年度の供用に向けて全力で事業を推進していきます。

橋梁側面図

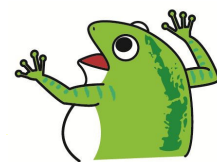


北上川右岸側の工事状況



北上川左岸側の工事状況





～地域で末永く親しまれる橋梁の整備を目指して～

新小谷木橋は、今後長期にわたり、地域の生活や産業活動を支え、地域のシンボルとなる重要なインフラであることから、計画時点から有識者や地元住民等で構成する景観検討委員会等を組織して検討を進め、新小谷木橋の基本コンセプトである「河川空間および遠方の山並みの風景と調和した橋」を踏まえた橋梁設計を行っています。

現在、橋桁の色彩や橋梁付属物等の詳細デザインの設計を行うため、「一般国道 397 号(仮称)新小谷木橋詳細デザイン検討委員会(委員長：南正昭岩手大学工学部教授、以下「委員会」という。)」で専門的見地や地元意見等を踏まえた検討を行っており、平成 29 年5月 30 日に第2回委員会を開催し、橋桁の色彩案および橋梁付属物等のデザイン案等について審議しました。

橋桁の色彩案の審議では、第1回委員会(平成 28 年 12 月 22 日)で決定した橋桁の色彩の方向性や鮮やかさの度合いである彩度を考慮した色彩検討結果等を踏まえて「日本の伝統色」から選定した橋桁の色彩候補案について了承され、最終色彩候補案として5色を選定しました。

橋梁付属物等のデザイン案の審議では、新小谷木橋の基本コンセプト(河川空間および遠方の山並みの風景と調和した橋)を踏まえ、眺望を考慮した透過性の高い形式を採用すること、橋梁付属物の色彩は道路付属物を含めて地域の伝統産業である鋳物(南部鉄器)をイメージするダークグレーで統一し良好な連続的道路景観を形成すること、橋上バルコニーの細部デザインの一部に鋳物を活用し南部鉄器特有のデザイン(アラレ模様)を採用することなどのデザイン案について了承されました。

第3回委員会は6月末に開催予定であり、橋桁の色彩案の検討(現地確認)等を行う予定です。委員会の詳細は、以下の岩手県ホームページをご覧ください。

【岩手県ホームページ】

[トップページ](#) > [県南広域振興局](#) > [土木部](#) > [お知らせ](#)

<http://www.pref.iwate.jp/kennan/doboku/45920/index.html>

第2回委員会を進行する南委員長



第2回委員会の審議状況



【問合せ先】

岩手県 県南広域振興局土木部 道路整備課

〒023-0053 岩手県奥州市水沢区大手町1-2 電話番号:0197-22-2881(内線 351)

三陸復興

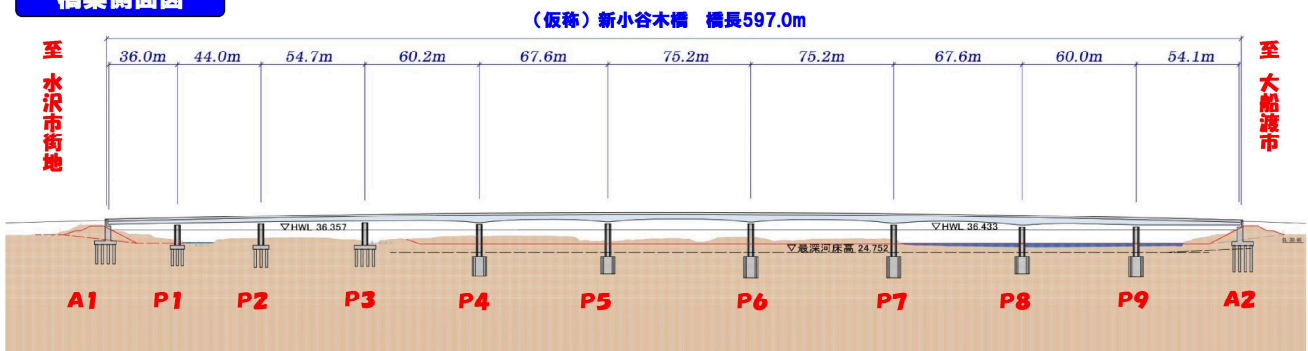


小谷木橋工区の事業計画①～計画概要～

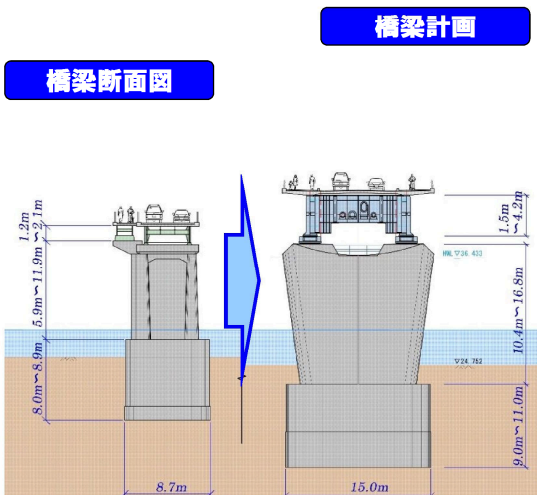


小谷木橋工区の事業計画②～(仮称)新小谷木橋～

橋梁側面図



橋梁断面図



標準断面図(橋梁部)

